

NEWSWAVE

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

発行
株式会社常陽経営コンサルタンツ

〒973-8408

福島県いわき市内郷高坂町砂子田94 番地
TEL0246-27-9110 FAX0246-27-9118

医療施設にもQCサークル運動を 国民皆保険を守るためのカイゼン

元炭鉱の町として名をはせた福岡県飯塚市で全国から医師や病院経営者らが集まって「医療版トヨタ生産方式」の勉強会があった。医療版カンバン方式とは耳慣れないが、「病院でもムダを省いていこう」というのは歓迎されること。

「2014 年診療報酬改定を少しでもプラス改訂」論議のさ中だから意義があるかもしれない。

会議のテーマはずばり「病院もムダのないカイゼン運動に取り組もう」だった。主催した飯塚病院の医療版品質管理プログラム (TQM) を全国で共有したいということが動機にある。

日本企業の改善運動は 1960 年代後半から、一部では「提案運動」と名を変えて全国的な大きなうねりとなった。時代を経て「QC (品質管理) サークル」へと発展する。ただし QC サークルなどの手法は絶対ではない。ムダ排除や品質管理を一丸となって取り組む姿勢が重要なのだ。

発表された飯塚病院での実践成果を列挙すると、「施術患者への説明から術前処置終了までの待ち時間 163 分→26 分に短縮」、「針や注射器の容器、置き方を統一」(救命救急センター)、「転院時の待ち日数 (ベッドの空き) 平均 13.5 日→9.7 日」など、画期的な効果を上げることに成功したのだ。

患者の満足度などが向上すれば病院関係者のモラルも高まる。すると安全など「質」が高まり経営の安定にもつながる。だから、国民皆保険制度を死守するための策がカイゼンなのだ。

患者の満足度などが向上すれば病院関係者のモラルも高まる。すると安全など「質」が高まり経営の安定にもつながる。だから、国民皆保険制度を死守するための策がカイゼンなのだ。

赤字法人調査で1割強が黒字転換 1件当たりの申告漏れは 1288 万円

今年 6 月までの 1 年間 (2012 事務年度) における法人の黒字申告割合は 27.4% で 2 年連続増加したが、低水準は変わらず 7 割強の法人が赤字だ。このような状況に便乗して実際は黒字なのに赤字を装う企業が後を絶たない。

2012 事務年度中に法人税の実地調査をした 9 万 3 件のうちほぼ 4 割に当たる 3 万 7 千件は無所得申告法人の調査に充てられ、うち 1 割強 (12%) の約 4 千社が実際は黒字だったことが、国税庁のまとめで判明した。

調査結果によると、実地調査した 3 万 7 千件のうち、約 7 割にあたる 2 万 6 千件から総額 4803 億円にのぼる申告漏れ所得金額を見つけ、加算税 79 億円を含む 416 億円の税額を追徴した。調査 1 件あたりの申告漏れ所得は 1288 万円となる。また、実施調査したうちの 22.3% の 8 千件は仮装・隠ぺいなど故意に所得をごまかしており、その不正脱漏所得金額総額は 1516 億円にのぼった。不正申告 1 件当たりの不正脱漏所得は 1819 万円となる。

2012 事務年度は無所得申告法人調査は、実地調査件数が国税通則法改正の影響で前年度比 32.6% 減、申告漏れ件数も 30.6% 減とともに大幅減少した。この結果、黒字となった法人が約 4 千社あったわけだが、調査で把握された 1 件あたりの申告漏れ所得 1288 万円は、前年度から 16.8% 増加し、法人全体の平均 1071 万円を大幅に上回る。ここに、赤字の仮装などの観点から、無所得法人に対する調査を重点的に実施する背景がある。

2012 事務年度は無所得申告法人調査は、実地調査件数が国税通則法改正の影響で前年度比 32.6% 減、申告漏れ件数も 30.6% 減とともに大幅減少した。この結果、黒字となった法人が約 4 千社あったわけだが、調査で把握された 1 件あたりの申告漏れ所得 1288 万円は、前年度から 16.8% 増加し、法人全体の平均 1071 万円を大幅に上回る。ここに、赤字の仮装などの観点から、無所得法人に対する調査を重点的に実施する背景がある。